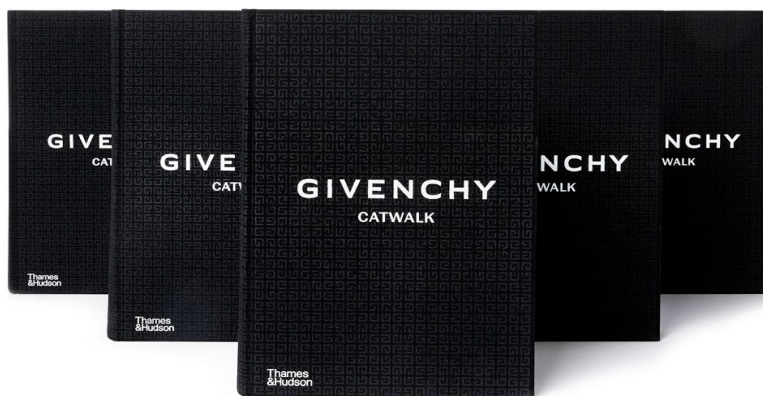


# GIVENCHY

『ジバンシィ キャットウォーク』  
(原題 GIVENCHY CATWALK: THE COMPLETE COLLECTIONS)

アレクサンドル・サムソン & アンダース・クリスチャン・マッセン

PRESS RELEASE – November 16<sup>th</sup>, 2023



『ジバンシィ キャットウォーク』は、1952年のメゾン設立から今日に至るまでのジバンシィのオートクチュールおよびプレタポルテコレクションを、1,200点以上の写真で紹介する初の総合的なモノグラフです。

「エレガンスへの近道はシンプルである」 -ユベール・ド・ジバンシィ

1952年、ファッション界に颯爽と現れたユベール・ド・ジバンシィが弱冠24歳で設立したメゾンは、ジバンシィのミューズ（そして親友）であるオードリー・ヘプバーンが体現したように、エフォートレス・エレガンスの極みを象徴する存在となりました。ジバンシィのコレクションの多くは、本書で初めて公開されます。1995年に創業者が引退すると、まずジョン・ガリアーノが指揮を執り、その後を若きアレキサンダー・マックイーンが引き継いで、彼にとって初の（そして唯一の）オートクチュール・コレクションを発表します。2001年には、ジュリアン・マクドナルドが独自のハイテンションでグラマラスなアプローチをジバンシィに持ち込みます。直近では、イタリア人デザイナーのリカルド・ティッシが2005年に就任し、クレア・ホワイト・ケラー、アメリカ人デザイナーのマシュー・M・ウィリアムズと続き、ジバンシィを現代的な方向へと導いたのです。

ジバンシィのメゾンに関する唯一のモノグラフである本書は、メゾンの簡潔な歴史から始まり、年代順に構成された約180のコレクションを紹介しています。ジバンシィの歴史における各時代は、新デザイナーの略歴と概要で始まり、個々のコレクションはその影響とハイライトを紹介する短いテキストで紹介され、1200点の厳選されたキャットウォーク写真とともに解説されています。本書は、メゾンの創始者と強力な後継者たちのクリエイティブな発展をたどる貴重な機会を提供し、豊富な索引を含むレファレンスセクションが本書を締めくくります。

マシュー・M・ウィリアムズは、ジバンシィの70年以上にわたるファッションの遺産を祝福しながら、新しい時代へと導いています。

「私にとってファッションとは、フォーマルとインフォーマル、構造と快適さが共存する視点を表現するものです。私の”エトス”は、服に着せられるのではなく、服に自分の個性を吹き込む贅沢さです」 -マシュー・M・ウィリアムズ



# GIVENCHY

## 『ジバンシィ キャットウォーク』 (原題 GIVENCHY CATWALK: THE COMPLETE COLLECTIONS)

アレクサンドル・サムソン & アンダース・クリスチャン・マッセン

PRESS RELEASE – November 16<sup>th</sup>, 2023



『ジバンシィ キャットウォーク』は、オリジナルのキャットウォーク写真を通して世界のトップメゾンのコレクションを概観できる貴重なモノグラフの最新作です。

著者であるアレクサンドル・サムソンはファッション史家であり、ガリエラ宮のキュレーター。「1997年ファッション・ビッグバン」、「マルジェラ/ガリエラ 1989-2009」、「Back Side / Fashion from Behind」などの展覧会を企画しています。

アンダース・クリスチャン・マッセンは、プリティッシュ・ヴォーグ誌のファッション評論家です。ロンドンを拠点とし、フィナンシャル・タイムズ、デイリー・テレグラフ、i-D、NYLON、ウォール・ストリート・ジャーナルなどで特集記事を執筆した経験を持ちます。

「本書は、ファッションハウスの創始者とその後継者たちの創造的な発展をたどる機会や、彼らの初期、勝利、疑念、革新について探求する機会をもたらします。また、彼らが当時どのような反応を引き起こし、それがどのように私たち自身の反応に影響しているかを検証するきっかけにもなるでしょう。約180のコレクションは、一般の人々を驚かせるような創意工夫とラグジュアリーの高さを証明しています。ジバンシィの「ハート」は、商業的な提案と華やかなプレゼンテーションの間の稀有なバランスを保ちながら、時代の鼓動に共鳴しているのです」-アレクサンドル・サムソン (作家)

